

UPKI 認証連携基盤によるシングルサインオン実証実験 概要説明

1. 概要

全国大学共同電子認証基盤（UPKI）構築事業では、平成 18 年度から 3 年計画で、各大学へのサーバ証明書の発行や UPKI 共通仕様、認証局スタートパックの配布等の大学内認証局構築の支援を実施しております。

最終年度に当たる今年度は、これまでの成果を活用して、大学内でシングルサインオンの認証環境を用いて、電子ジャーナルやその他の学術リソースの共用を行う「UPKI 認証連携基盤」の実証実験を実施します。

本実証実験では、シングルサインオンの技術で、電子ジャーナル等のコンテンツ利用や、大学間の認証連携を行い、次年度以降の認証基盤構築に向けた技術的・制度的な検証を行うものです。

2. 参加機関

認証作業部会、各大学の図書館、情報基盤センター、学術系研究者の方
UPKI メールマガジン及び UPKI イニシアティブ Web ページ上で公募を実施

3. 実施体制

本実証実験は、全国 9 つの大学等で構成された、学術情報ネットワーク運営・連携本部 認証作業部会の指導・協力の下で実施します。

4. 実証実験参加のパターン

実証実験のご参加には、2 パターンあります。なお、いずれの場合も参加いただいた機関名を、ホームページ等に掲載させていただきますので、ご承知おきください。

また、実証実験では、NII のコンテンツサービスである CiNii を利用いただけるよう準備をしています。実証実験期間中、ぜひ CiNii をご利用ください。

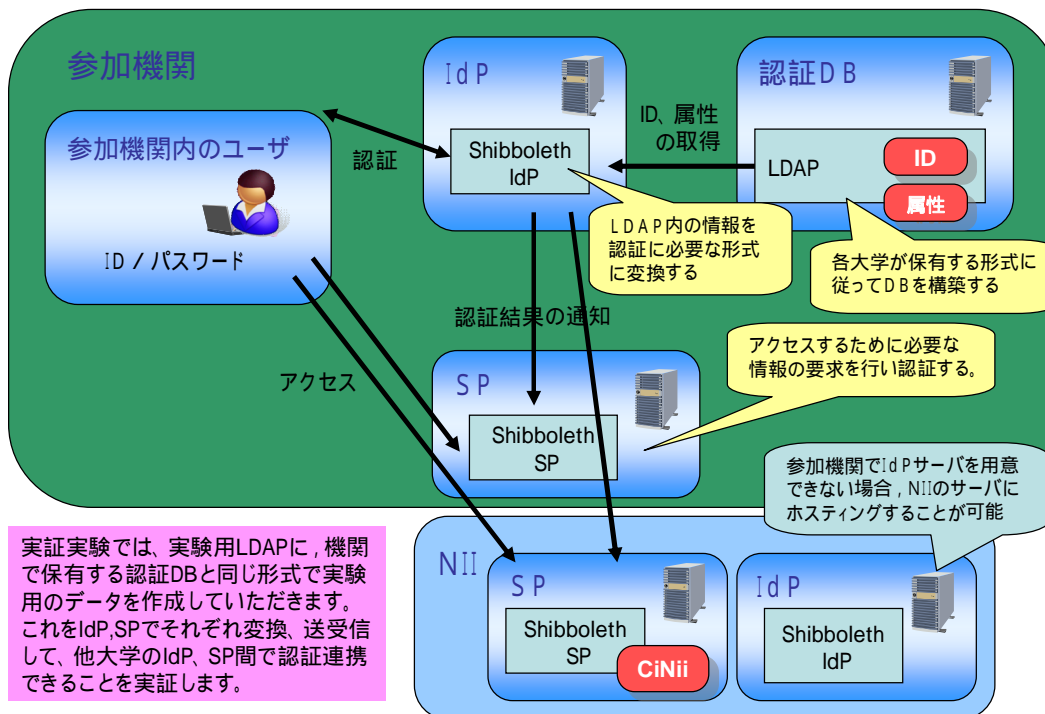
(1) シングルサインオン利用実験

NII に用意したシングルサインオンの環境を使用していただく実証実験です。お申し込みいただくと、NII がテスト用の ID とパスワードを発行いたしますので、これを利用して NII が用意するシングルサインオンの環境を利用していただく実験です。

(2) IdP 連携実験

実証実験に参加いただく機関で、IdP (ID プロバイダ)、認証データベース、SP (認証対象の Web サーバ) を用意していただき、大学間の IdP 連携を含めて実施していただく実証実験です。

概念図



5 . IdP 連携実験の準備

IdP 連携実験にご参加いただく場合、以下の準備が必要となります。

(1) IdP の構築

実証実験の参加機関では、必須として IdP を学内に構築していただく必要があります。

構築時に発生する技術的な質問等については、NII でサポートを実施します。

構築にあたっては、各参加機関に、IdP 用のサーバ機器を別途ご準備いただく必要がありますので、ご注意ください。

(2) IdP 連携実験用データの作成

実証実験では、各参加機関の既存の認証システムで利用しているデータ形式に倣った形式で、仮 ID や仮属性を作成していただき、それを実証実験用のテスト ID、テスト用属性として IdP の LDAP に格納します。

本テスト用データを利用することにより、大学既存の認証システム（学内認証データベース）の情報が、大学間の認証連携時にも技術的に容易に利用可能かどうか、また、連携するためにデータ変換等の処理が必要になるかどうか等について検証を行います。実験用データの作成について、技術的な質問等については、NII でサポートを実施します。

(3) SP の構築

SP の構築は必須ではありませんが、様々なサービス展開の可能性を検討するため、参加機関におかれましては、できる限り SP の構築にもご協力をお願いいたします。また、NII から CMS (コンテンツ管理システム: Plone) の SP 構築・運用手順書を提供させていただきますので、各参加機関において、今後、SP の構築を検討される際の参考資料としてご利用ください。

(4) サーバ証明書の入手

Shibboleth の IdP や SP の構築にあたっては、サーバ証明書の導入が必要です。なお、サーバ証明書は UPKI の「サーバ証明書発行・導入における啓発・評価研究プロジェクト」から発行したサーバ証明書や、商用 CA から発行されたサーバ証明書 (Verisign, グローバルサイン, セコム等) を利用することも可能です。なお、サーバ証明書の発行には、数日かかる場合もございますので、お早めにご申請ください。

(5) 関連パスワードの入手

IdP 連携実験では、専用の Wiki サイト及び UPKI イニシアティブのフォーラム等を用いて、NII からのお知らせや、参加機関からの連絡等をいただくこととしています。このための ID/パスワードを事務局からご連絡いたします。

(6) 参加機関内での利用

実証実験で構築した IdP や SP については、担当部署のみでなく、機関内においてモニター等を募集し、広く利用、実証していただきます。その際、機関内のモニター利用者の募集や、ID、パスワード等の発行、意見のとりまとめ等の作業についてご協力をお願いいたします。

各参加機関において、モニター利用者を募るため、NII では、CiNii や商用電子ジャーナル (予定) が実証実験で利用可能となるよう準備を進めています。

6. IdP 連携実験のまとめ

IdP 連携実験では、終了時に以下の 3 点についてまとめを出す予定です。

(1) 運用ポリシーの決定

UPKI 認証連携基盤に加入する際の条件や利用規約、信頼する認証局等

(2) 共通仕様の策定

UPKI 認証連携基盤で利用するプロトコル仕様、属性スキーマ定義、セキュリティ設定等

(3) 今後展開するサービスの検討

UPKI 認証連携基盤で今後、展開、利用可能なサービス (SP) 等

7. 実施スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月
説明会開催 (7/23, 7/31)	テストSP公開 (CiNii等)		中間報告会 (属性検討等)		最終報告会 (12中旬)
IdP連携実験参加準備, IdP構築		IdPの運用・管理			
	テストデータ作成・登録 (属性利用の検討等)				
SP(コンテンツ)利用実証, 接続テスト					
運用ポリシー, 規程等の検討等					
シングルサインオン利用実験の実施					

8. 実証実験の参加手続き

(1) シングルサインオン利用実験

下記, お問い合わせ先へメールでお申し込みください。折り返し, 実験用のID等を発行いたします。

(2) IdP連携実験

次の項目をご記入の上, 下記お問い合わせ先へメールでお申し込みください。

機関名称

代表者氏名, 所属, 職名, 連絡メールアドレス

担当者氏名, 所属, 職名, 連絡メールアドレス

なお, IdP連携実験については, 平成20年8月29日(金)でお申し込みを締め切ります。

9. お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせ等については下記までご連絡ください。

国立情報学研究所 学術基盤推進部基盤企画課

連携システムチーム

E-Mail : upki-office@nii.ac.jp TEL : 03-4212-2218